

## 山口さんの追っかけ愛知から参加!! すすむ小豆島の世代交代の兆し!!

朝、行進車に見慣れぬ男性が近寄ってきます。聞くと愛知県平和委員会の腕章を巻いた男性が参加したいとサプライズ。今日は民青が4人も高松から参加します。こうして高松からも一定の人数が小豆島へ向かいました。出発式で、小豆島町長からのメッセージの代読者は、小豆島町議選で再選された、鍋谷真由美町議。山口逸郎さんは人生2回目の小豆島と切り出し、「名もなく貧しく美しく」の助監督になり、「翼は心につけて」の監督で小豆島に来たが、念願の「お遍路行進」で四国を周り広島へ行進すると挨拶。

行進は、山口さんの持つ横断幕先頭に、民青の青年が片方を持ちます。相変わらず小豆島の住民の反応は、県内でもとびぬけています。車中の窓を開けて手振り、家から飛び出し両手を振る男性などもいます。そんな行進者の中には、Nさんのように夫が眠る墓までの行進者や山口さんに負けたと87歳のTさん、最後まで頑張った78歳のHさんがいる一方、息子の妻や途中までと言いながらの女性、更に三重県から移住という男性など、世代交代の兆しも垣間見えました。

<民青の初参加者の感想>

今回初参加者の、一言メッセージ

★高齢の方が多かったが、皆さん熱い心を持っていた、少し嬉しかった。★山口さんのパワーがすごい。90歳とは思えない。元気もらえた。★山口さんがアピールウォークして、全体的に元気になっていた。すごい。

<愛知県参加者の感想>

初めての四国、初めての小豆島でした。若者が頑張っている姿、最後まで歩きとおしたお婆さんに感動しました。明日の行進のエネルギーになります。

★土庄町長からのメッセージは、町長と議会が、土庄町民を代表して駐日ロシア大使館へ抗議文を送って、平和行進と同じ願いと強調して核兵器の廃絶をこれからも訴えたと決意。



池田港での出発集会



何とか高松行のフェリーに間に合った終結集会でした。